

2011年6月17日

認証評価指摘事項						
点検・評価問題点	広報活動が不足しており、地域住民の参加がほとんど見られない。					
改善方策	7-27 シンポジウム開催のチラシを、本学「地域連携センター」を通じて配布する。					
計画	前期		中期		後期	
	2010 年度	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
	→	→	→	→		
2010 年度実施計画			達成時期	2010 年度取り組み結果		
今年度秋に開催が予定されている国際シンポジウムから、地域連携センターを通じてチラシを掲示するなど、広報活動を行う計画である。			2010. 4～ 2011. 3	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2011 年度実施計画			達成時期	2011 年度取り組み結果		
秋に開催を予定しているシンポジウムについては地域連携センターの協力を得て広報活動を行う。			2011. 4～ 2011. 11	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2012 年度実施計画			達成時期	2012 年度取り組み結果		
秋に開催を予定している国際シンポジウムについては、地域連携センターの協力を得て広報活動を行うとともに、板橋区役所の関係者にも事前に連絡して徹底する。			2012. 4～ 2012. 11	○ A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2013 年度実施計画			達成時期	2013 年度取り組み結果		
秋に開催を予定しているシンポジウムについては、地域連携センターの協力を得て、早めの広報活動を行う。また板橋区役所の関係者にも協力を求める。学生が主たる対象であるため平日開催とするが、テーマは広範な市民の参加を得られるよう工夫する。2013 年度は、新指導者が誕生した中国・韓国・ロシアの対アジア・対日戦略を検討し、「領土問題」を含む日本の外交戦略を考える場とするような企画を準備する。				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2014 年度実施計画			達成時期	2014 年度取り組み結果		
				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成
				(B または C の理由)		
2015 年度実施計画			達成時期	2015 年度取り組み結果		
				A 完全に達成	B 達成半ば	C 未達成

		(B または C の理由)
--	--	-----------------

改善方策経過報告書

認証評価指摘事項	
点検・評価問題点	広報活動が不足しており、地域住民の参加がほとんど見られない。
改善方策	シンポジウム開催のチラシを、本学「地域連携センター」を通じて配布する。

(2011年6月17日現在)

【現状の説明】

2010年11月の国際シンポジウムの開催にあたり、シンポジウム開催のチラシを、地域連携センターを通じて配布し、地域住民の方にお知らせした。

所見	広報活動の充実は評価できるが、その結果、学外の参加者が増加したのかどうかの検証も必要である。
----	--

(2012年3月31日現在)

【現状の説明】

2011年11月7日に開催したシンポジウムについては、地域連携センターの協力を得て、地元住民への広報活動を事前に行った。しかし平日の午後開催という時間帯の問題（平日勤務の社会人には参加しにくい）やシンポジウムのテーマがあまり身近ではないことなどから、地元住民の参加は多くなかった。

所見	シンポジウムの対象を明確化し（地域住民を対象にしたものなのか、学生を対象にしたものなのか）、対象に適した日程で実施することにより、充実したシンポジウムになることを期待します。
----	---

(2013年3月31日現在)

【現状の説明】

2012年11月12日に開催したシンポジウムでは衆議院の選挙も噂されるほどの大きな話題であり、120名近い学生の参加があった。しかし、地域住民の方々よりは本学の学生を対象としてテーマを設定したこともあり、近隣の方々の参加は少なかったようである。国際的でアカデミックなテーマは地域住民の方々に関心を呼ばないテーマではないが、今後とも工夫してテーマを検討することが重要と思われる。

所見	学生の参加者増については評価できます。しかしながら、本来の改善目的については十分達成されているとは言えません。計画最終年度として成果が上がることを期待します。
----	---